

# 浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「京都・南山城の仏像」

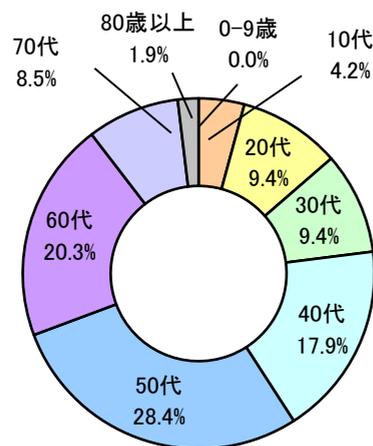
## アンケート集計結果

開催期間：令和5年9月16日（土）～11月12日（日）（会期日数：50日）

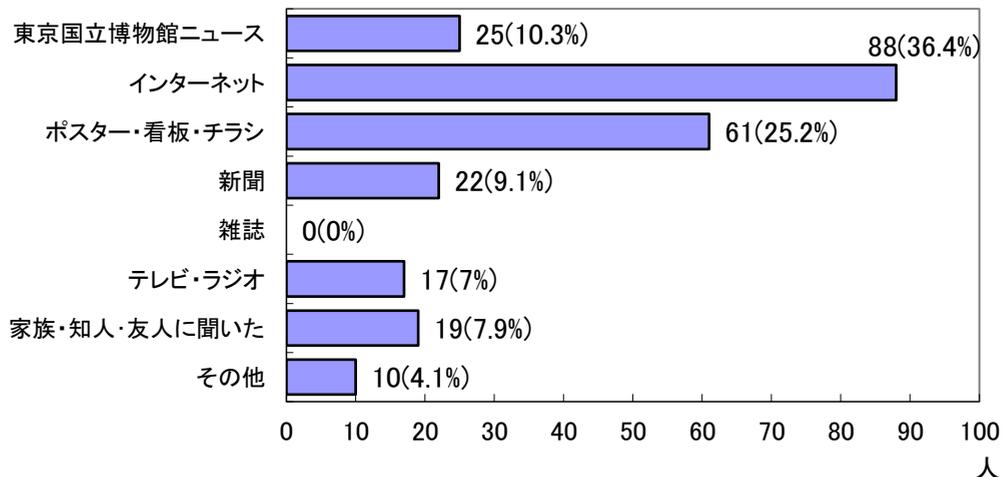
総入館者数：79,567人

回答者数：212人

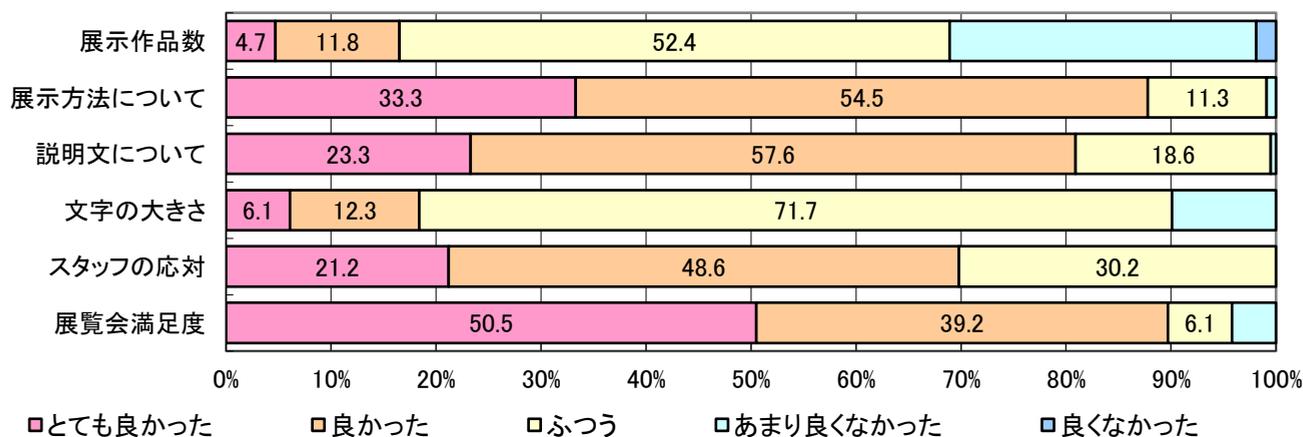
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・展示品を360度どの側からも見られるのは良かった、その展示方法を全ての展示品で行ってほしい
- ・もっと多くの作品を見たい
- ・音声ガイドの説明がわかりやすかった
- ・さらに詳しい解説が欲しい
- ・観覧の順路が分かりづらい

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	29.2	1.9
展示方法	0.9	0.0
説明文	0.5	0.0
文字サイズ	9.9	0.0
スタッフの対応	0.0	0.0
展覧会の満足度	4.2	0.0

(%)

本特別展は、浄瑠璃寺の九体阿弥陀の、明治期以来およそ110年ぶりの修理の完成を記念して開催されたものです。

今回の出展作品について、本尊など現地寺院を訪れてもなかなか見られない貴重なものが多かったことから、特別展という形で東京で一挙に鑑賞できた点について、好意的な感想を多くいただきました。先に開催された奈良国立博物館での特別展「聖地 南山城—奈良と京都を結ぶ祈りの至宝—」と本展、共に観覧されたというお声もありました。

本館特別5室での開催だったこともあり、作品数に物足りなさを訴える声があった一方で、「今回ほどの規模感がちょうどよい」という感想もいただきました。

仏像に高い関心を寄せられている方からの熱のこもったコメントも多く、「(もっと広い会場で)もっと見たい」というご意見もありました。仏像に造詣の深いみうらじゅん・いとうせいこう両氏がナビゲーターを務めた音声ガイドも好評でした。

展示方法・観覧環境に関しては、作品の周囲360度から観覧できる点が特に好評でした。

本展に関して寄せられたご感想・ご意見を参考に、今後も来館者の皆様へより充実した展示・観覧環境を提供できるよう、努めてまいります。